



誰かの笑顔につながるお買い物

SDGs・エシカルチャレンジ2021

普段のお買い物をするとき、価格や使いやすさだけでなく「誰かの役に立つ」視点をプラスする。そんなお買い物のことを「エシカル消費」と言います。今回は、SDGs実現に向けた生協の取り組みや、今年度実施したSDGs・エシカルチャレンジのご報告、組合員さんの取り組みについてお届けします。



誰かの笑顔につながるお買い物

持続可能な世界を目指すSDGsの目標達成のため、地域や環境などに配慮した消費のあり方「エシカル消費」への関心が年々高まっています。生協ではこれを「誰かの笑顔につながるお買い物」と表現し、「地域」「環境」「社会」「人々」の4つの視点で進めています。一人ひとりが意識するだけで普段のお買い物が「誰かの役に立つ」ことに繋がります、私たちの未来を変えていく第一歩になっていきます。

2021年に登場 コープサステナブルマーク

認証マークの種類が増える中、共通のロゴマークをパッケージに表示し、組合員さんがお店で「見つけて選びやすく」しました。

地域 豊かな『地域』を作り出せたら

生産者さんとのつながりや、国産原料の使用拡大を通じて、日本の農業・水産業を応援します。

環境 地球の『環境』を守り続けることができたなら

毎年、環境配慮商品の開発目標を決め、積極的に取り組んでいます。

社会 公正な『社会』の仕組みを作り出せたら

商品を通じて、社会インフラの改善や社会的公正の実現などにつなげます。

人々 『人々』の「生きる」を支えることができたなら

くらしの問題の改善や、困難を乗り越え挑戦する人々の支援などにつなげます。

エシカル消費でつくる豊かな世界

エシカル消費は、SDGsの目標12「つくる責任 つかう責任」に繋がります。

つかう(責任)	つくる(責任)
<ul style="list-style-type: none"> おいしい 安い 安全 便利 	<ul style="list-style-type: none"> CO2削減 資源・水管理 使う人の思いに寄り添う 公正な取引 人権の尊重

普段のお買い物に「エシカル」な視点を**プラス!**

産地指定 **地域** 資源を守る **環境** 公正な仕組みをつくる **社会** 生きるを支える **人々**

日常のお買い物 → エシカルなお買い物

もし、大多数の消費者が「エシカル」な価値を求めようになったら... 提供する側も、「エシカル」な商品やサービスに変わっていきます。

未来へ続く世界の実現のために私たち生協は、エシカル消費に積極的に取り組んでいきます。

今年の8月2日〜9月3日、SDGsエシカルチャレンジ2021を開催しました。身の回りのエシカルマークを探したり、組合員のみなさんが普段から心がけている「エシカル」を教えてください。この企画には、116名の方にご参加いただきました。

SDGs・エシカルチャレンジ2021 ご参加ありがとうございました!



普段から心がけている「わたしのエシカル」

エコバッグを持ってお買い物

お店に行くときエコバッグを持参し、地元の野菜を購入しています。またプラスチックやペットボトル等をきちんと市のルールにしたがってお店に置いていくリサイクルの箱に入れていきます。
(下関市 F・Yさん)

食品ロス削減のために

最近心掛けていることは買すぎないこと。お買い得パックでも使い切れなければ食品ロス。自分にとって、どれだけ必要かを考えること、また、お店では手前どり。割引シールがついた商品も救済しますよ!少しでもロス削減!
(下松市 N・Kさん)

自然や未来に優しい生活

まずは「わたしに良い」を考えること、それが「世界に良い」とつながっていくと意識して生活しています。これが「わたしのエシカル」です。チョコレート、コーヒー、Tシャツ、それからスマホなど、「自分の買い物の中身はどこから来たの?」と考えてみては?自然や未来にやさしい暮らし方をしたいですね。
(防府市 K・Uさん)



SDGs・エシカルチャレンジ2021 参加用紙

1 「わたしのエシカル」を教えてください。

2 エシカルな取り組みについて。

▲Sさんのエシカルチャレンジ応募用紙

せっかくなら誰かのためになるものを選びたい (周南市 Sさん)

エシカルチャレンジに参加するのは、今回が初めてだと話すSさん。「エシカルチャレンジは、コープのチラシで見かけて、普段の取り組みを応募してみました。家ではネギや豆苗、大葉、朝顔などの植物を育てていたり、スーパーでは環境のため・地域のためになるもの意識して買うようにしたりしていたので、ちょうど良かったんです」。中学1年生と小学5年生の娘さんたちには、家で育てる植物の水やり係を任せ、2人で成長を見守っているそうです。「自分たちで育てた植物が食卓に並び、残すことなく食べてくれますし、食べ物への感謝の気持ちが生まれると思います」。

今回のエシカルチャレンジでSさんが集めたのは、「CO-OPコナンスマイルスクールプロジェクト」マーク。コープは日常的にもよく使う商品だと言います。「普段は安く買っている時に箱で買ってストックしています。他のトイレットペーパーよりも長持ちするし、紙が柔らかいので使いやすいのがお気に入りです。使い終えた時に芯の「コ」が出ないところは環境にも優しいですね。買っただけで支援活動に参加できるし、生活に欠かせないものだからこそ、環境や社会にとって良いものを選びたいと考えています」。

あなたは、どんな商品にエシカルマークがつけられていたか? 見つけられましたか?

CO-OPコナンスマイルスクールプロジェクト

アンゴラの学校づくりを支援

もずく基金マーク

もずくの養殖に欠かせないサンゴ礁を守りはぐくむ取り組み

国産素材

主要な原材料に国産素材を使用している商品